

以下參考資料



現況と整備後イメージ概観

現況



整備後イメージ



【事業コンセプト】

- 自然環境と調和した利用のあり方を推奨する
- 将来を担う子供たちが楽しみ学習できる機会の創出
- 雄大な河川の景観や昼夜の変化を活かした賑わいの創出
- 夢を共有できる地元関係者等と連携し持続可能な賑わいの創出
- 大阪・関西万博へ向けて夢を実現

主催運営：淀川河川公園管理センター
 参加人数：夏・約500名、秋・約6,000名
 後援：

- ・国土交通省近畿地方整備局
- ・大阪商工会議所
- ・阪急電鉄株式会社
- ・株式会社ジェイコムウェスト



グランピング



水上アクティビティ



大阪市における事業スキームの例①

とんぼりリバーウォーク



<大阪市所管部署>

建設局 企画部河川課

<民間事業者>

南海電気鉄道株式会社

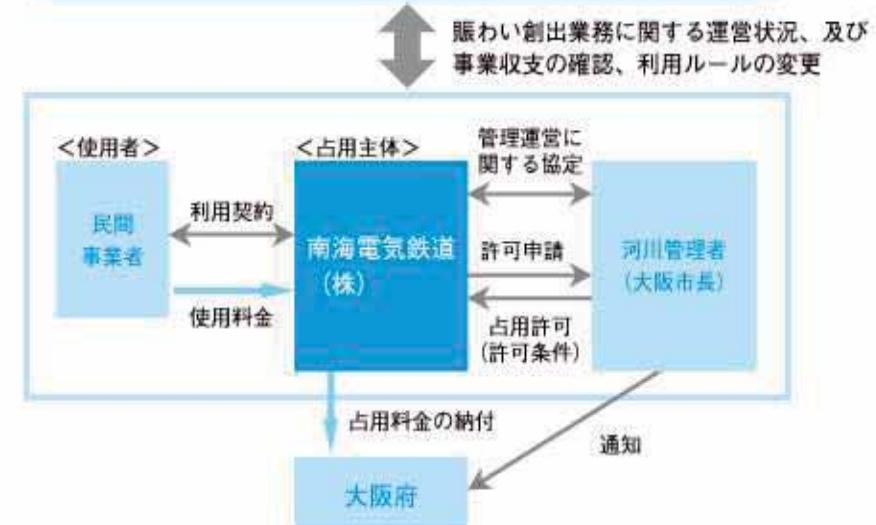
<供用開始>

2001年3月～（全面供用開始は2013年春）

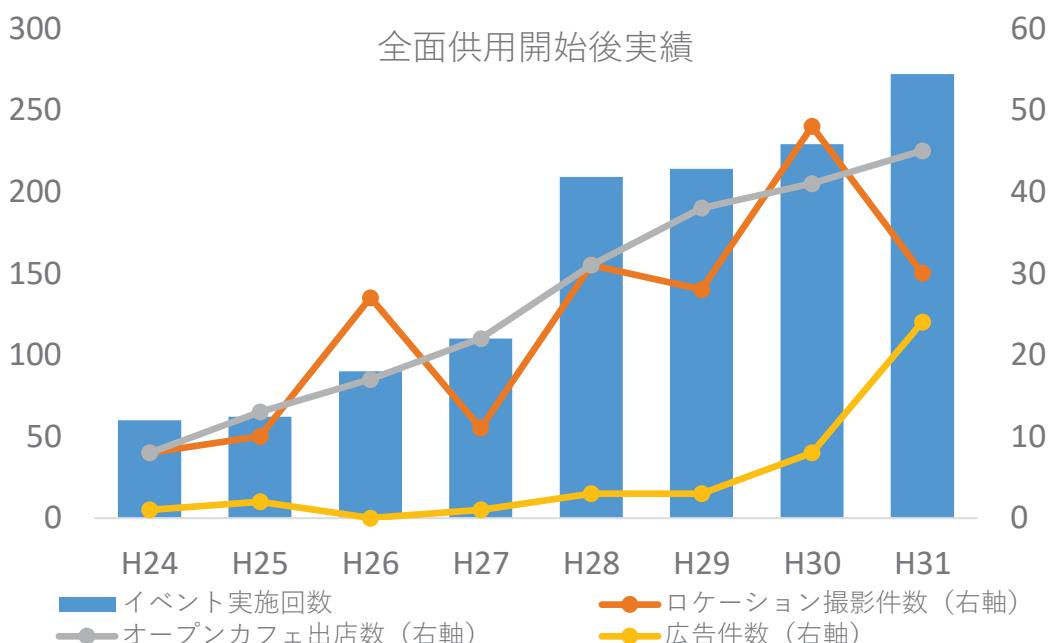
- 民間がオープンカフェやイベントなどに利用できるよう国土交通省と協議し、社会実験区域として河川敷地の利用が一部緩和。（のちに恒久制度化）
- 「賑わいの創出に関する業務」とともに、警備・清掃などの「維持管理業務」もセットにして行う。

道頓堀川水辺利用検討会

委員：学識経験者、及び沿川地域代表者の12名。
事務局：建設局、中央区、浪速区、西区



https://www.suitoosaka.jp/history/history_11_10.html から引用



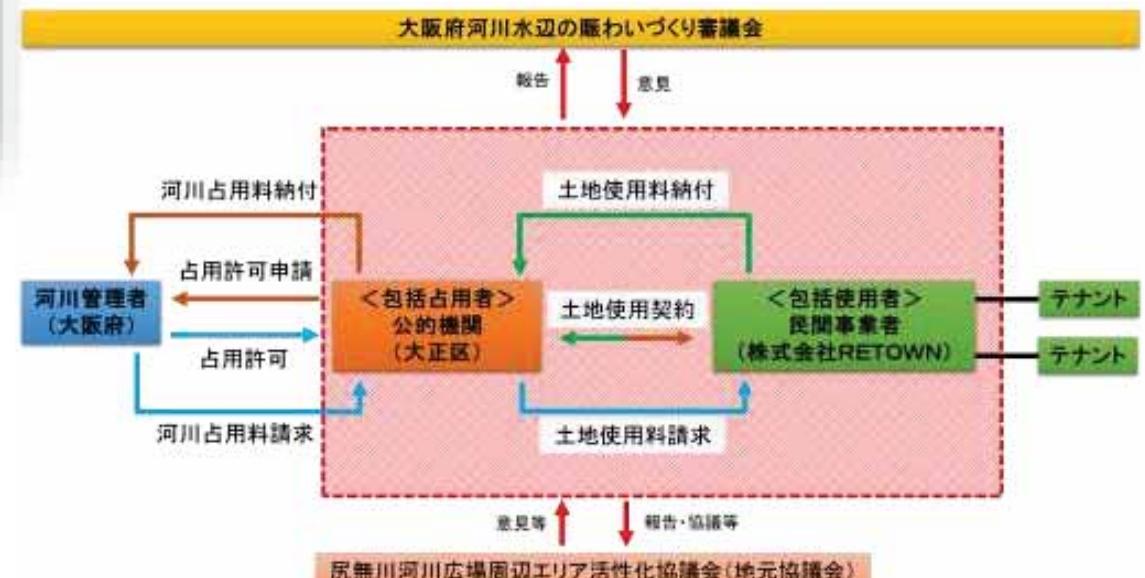
※南海電気鉄道株提供データより作成

大正リバービレッジ

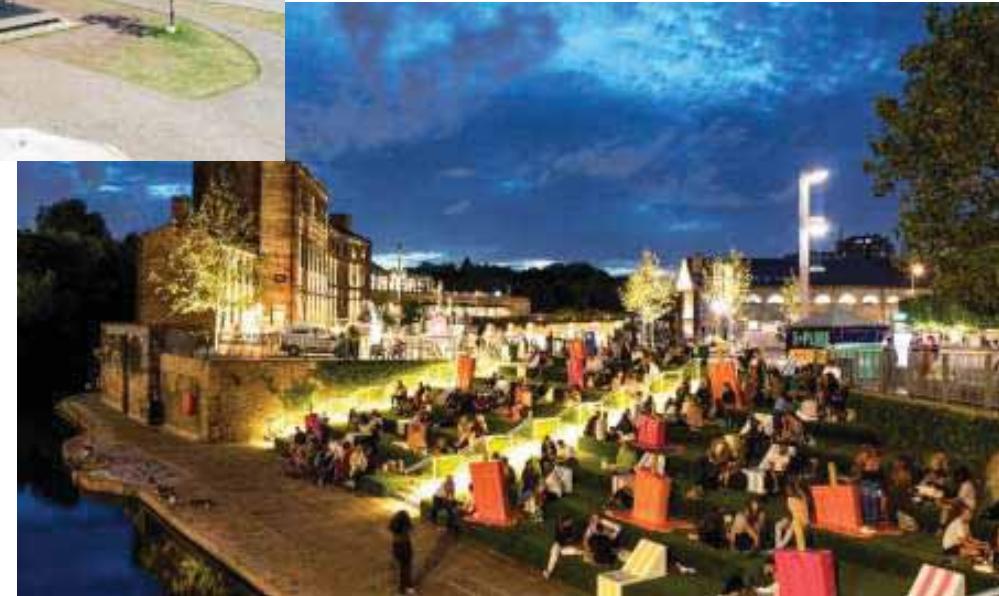


- 大阪府から尻無川河川広場が「都市・地域再生等利用地域」に指定され大阪市が事業者を募集。
- 事業者決定後、包括使用者が国土交通省に申請を行い、民間都市再生整備事業計画に認定される。

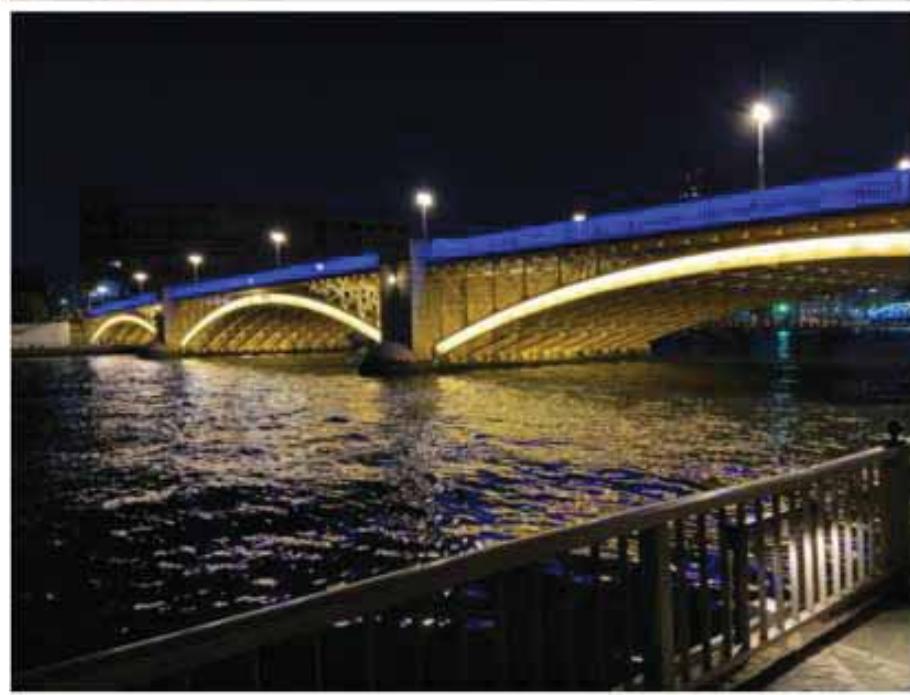
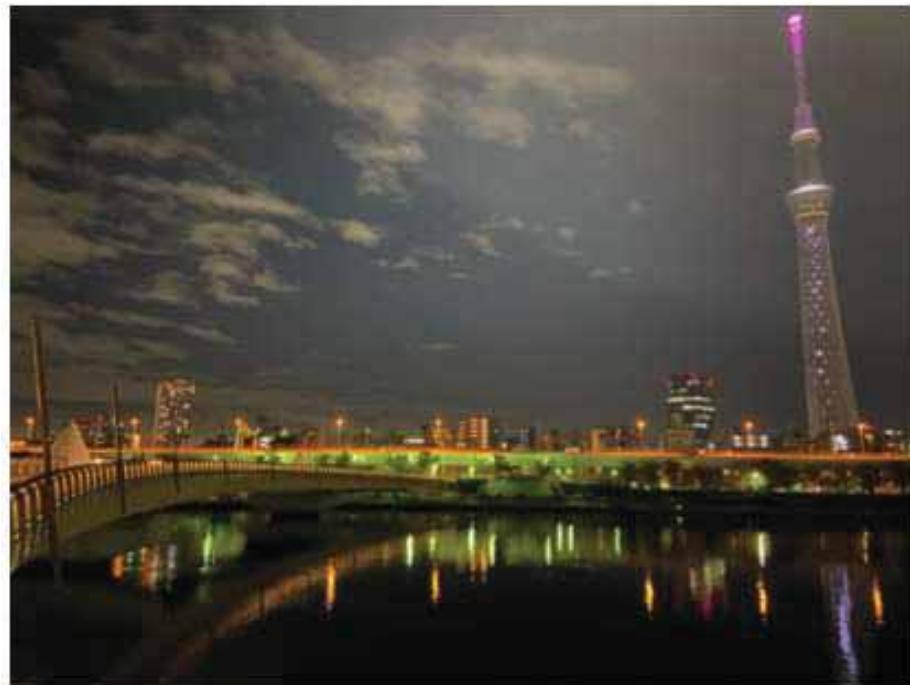
<大阪市担当部署>
大正区 政策推進課 政策推進グループ
<民間事業者>
株式会社RETOWN
<複合施設名>
TUGBOAT_TAISHO
<事業者による事業開始>
2020年1月 「TUGBOAT_TAISHO」第1期開業



整備施設の事例イメージ



隅田川の橋のライトアップ事例



新大阪駅周辺地域（新大阪・十三・淡路）まちづくり方針の骨格の都市空間機能

○関西・西日本・アジアから人を迎える国際都市のゲートウェイ＜都市空間機能＞

○スーパー・メガリージョンの西の拠点 <交流促進機能>

○広域交通ネットワークの一大ハブ拠点<交通結節機能>

（都市空間機能）

歴史・文化を感じられる空間



シンボリックな玄関口



光・緑・水を感じる空間



十三

新大阪

淡路

新大阪駅周辺地域

大阪らしい界隈性を活かした空間



大阪

3D化の状況

鳥瞰図



淀川（自然）と都市部の融合



河川敷部分



淀川舟運を活かしたまちづくり

淀川から夢洲など、新たな舟運航路により、沿川のにぎわいの創出や魅力向上が図られ、淀川全体の広域連携によるまちづくりを促進

